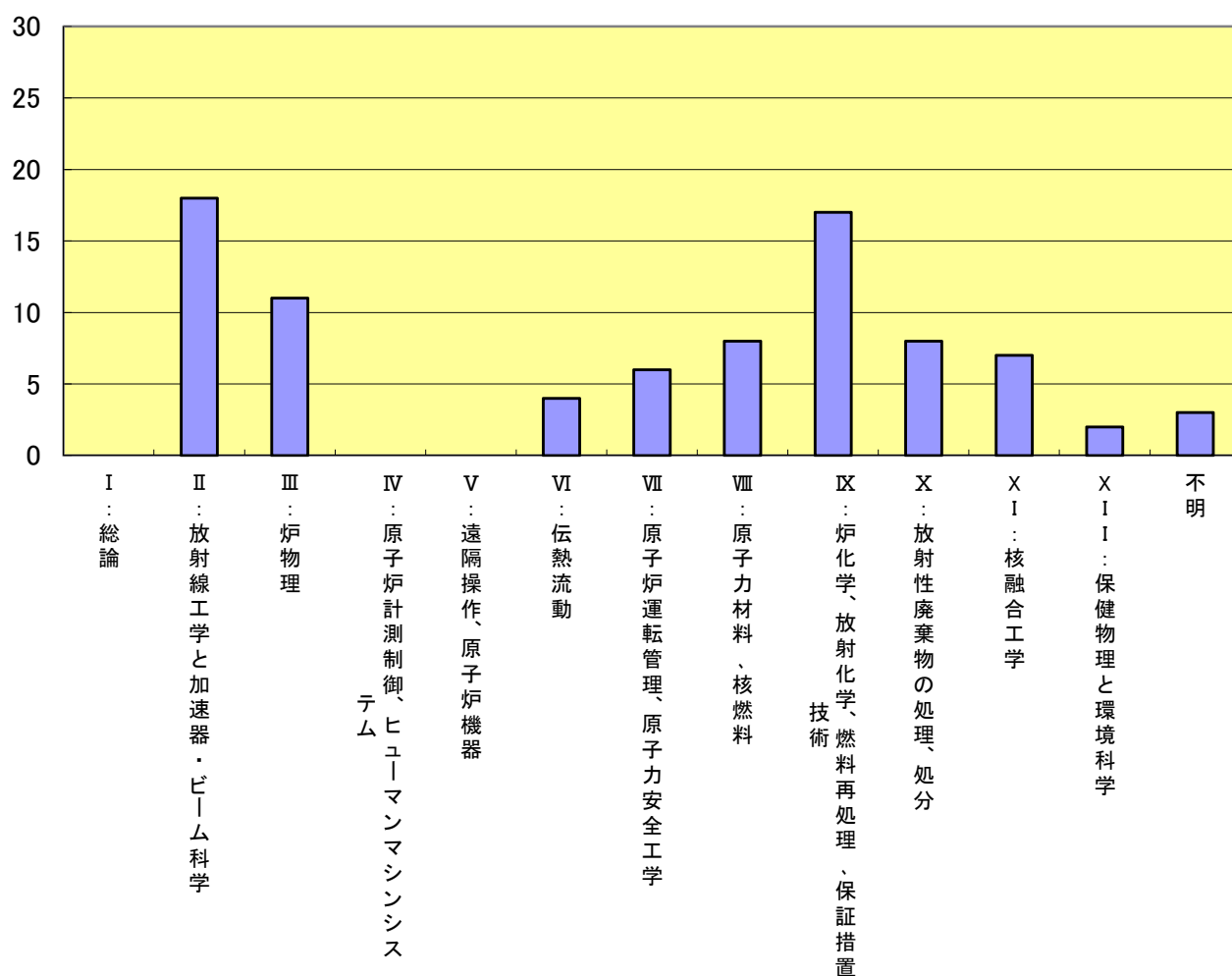
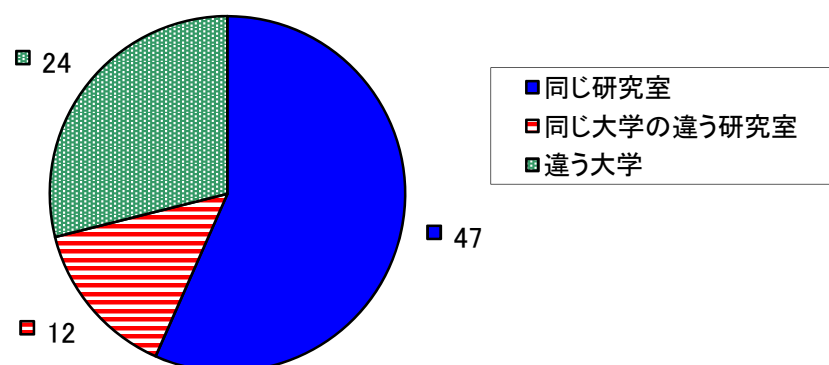


2015年度 KUCA大学院生実験
実験前アンケート結果(参加者:84名)

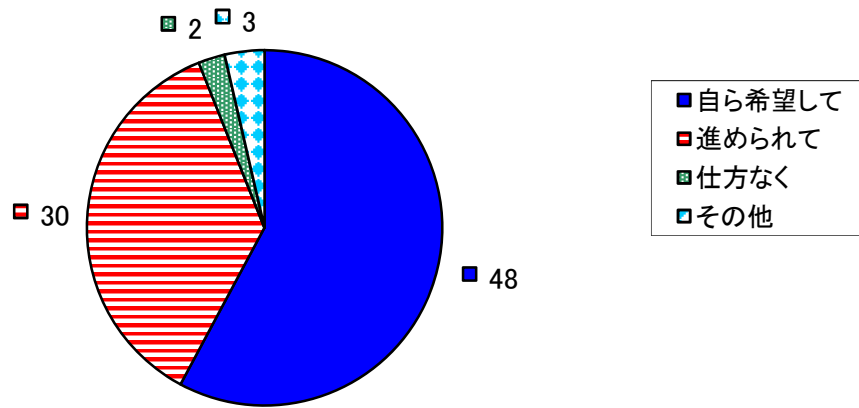
総集計 研究室(専門分野)



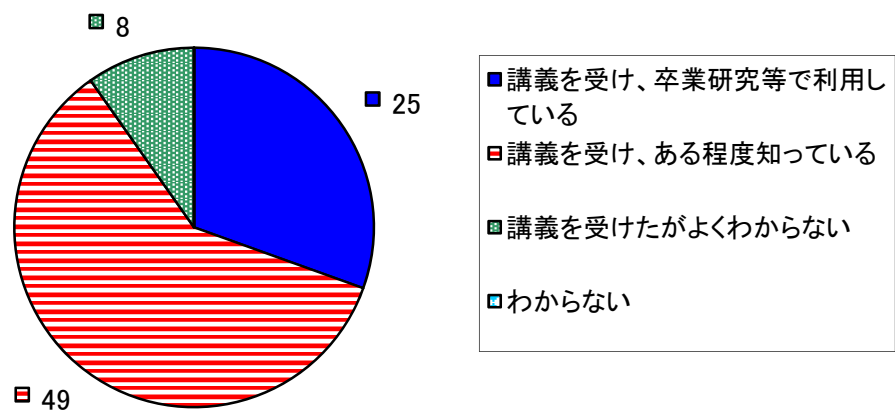
総集計:卒業学部研究室



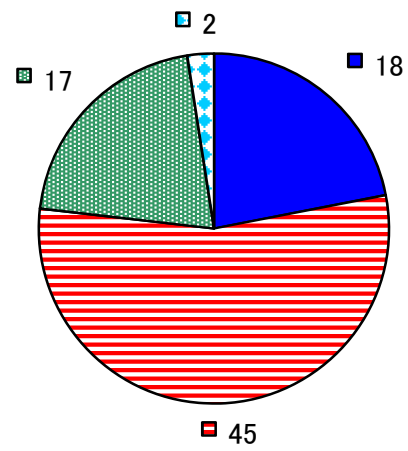
総集計:参加理由



総集計:放射線について

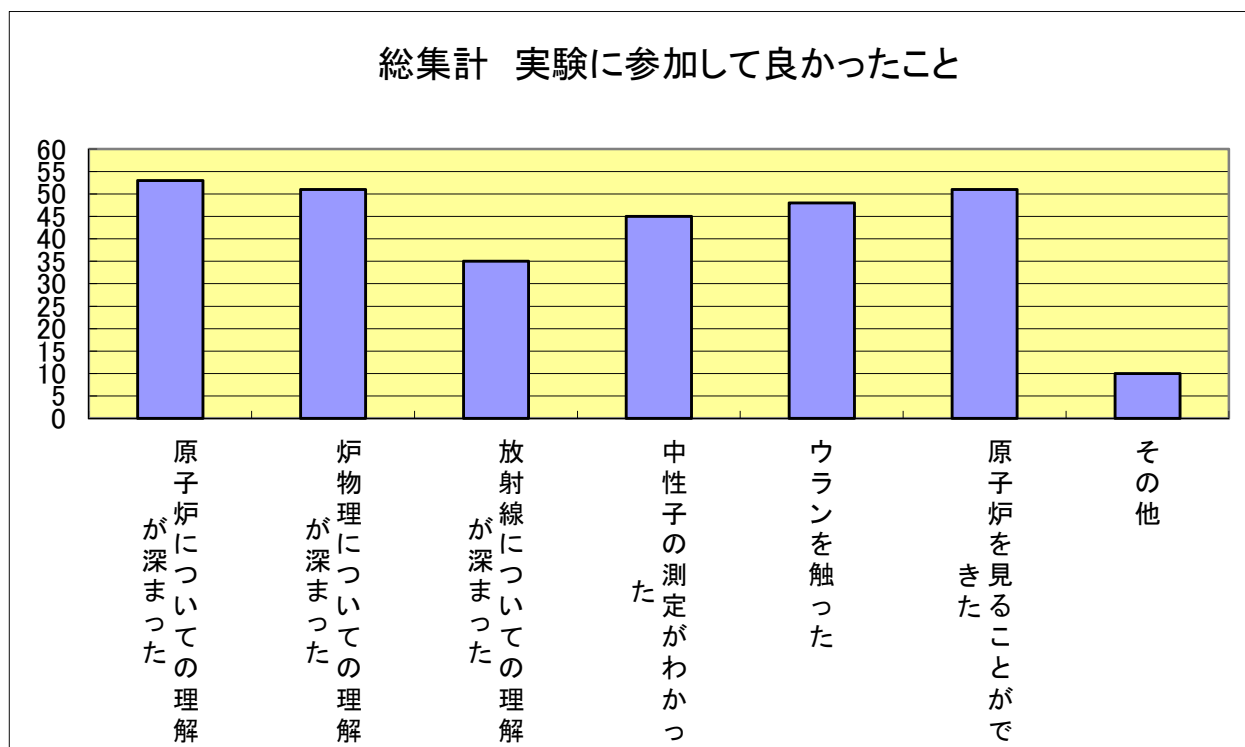


総集計: 炉物理について



- 講義を受け、卒業研究等で利用している
- 講義を受け、ある程度知っている
- 講義を受けたがよくわからない
- わからない

2015年度 KUCA大学院生実験 実験後アンケート結果(複数回答)



その他の項目：

福井大の人と仲良くなれたこと
 他大学の人と難しい実験を行う経験ができたこと
 研究室が違う人とも話すきっかけができ、よかったです。
 燃料体を積み上げて原子炉をつくるのがシンプルで奥が深そうと思った
 濃度測定において分解能のみでなく計数率の重要性を認識することができました。
 他大学の先生による講義、他大学の学生との討論は新鮮で良い刺激を受けました
 原子力エネルギーについて理解を深めることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。
 私は炉物理を研究として扱う研究室に所属しているが、もっぱら同じ研究室にいる人とのみの議論しかしてこなかった。
 他大学、他分野の方と炉物理に関する討論ができ、大変充実した一週間だった。
 東北大学の方々と交流できたこと
 実際に計測を行い、理論が成り立つこと、または実際には様々な要素により理想的な結果にならないということを確認できたこと。
 普段話す機会のない人とたくさん話せた
 天然ウランが思っていたよりも重くて驚いた。触る機会はなかなかないので貴重な経験ができた。
 ・グループで協力すること ・中性子、 γ 線を実感したこと ・先生方の様々な能力に触れたこと
 ・放射能も手袋一枚で大丈夫な場合のあること
 チームワークが深まったこと。皆で議論できたこと。
 新基準に対する対応
 理解があいまいだったところを発見できた(大量に)
 他大学との交流を通じて改めて気合を入れ直して残りの修士生活を頑張ろうと思えたこと。
 ポリエチレン、炭素、Be、U等の1L分の重さを身をもって体験したこと。
 他大学の院生の方々と交流できたこと
 人生で初めて原子炉を生で見れてよかったです。